第25回 葉山芸術祭 2017　共催企画

竹のサウンドオブジェ × 加地邸
加地邸がアキノリウムになる日

葉山町・一色地区に建つ、フランク・ロイド・ライトの愛弟子・遠藤新設計の「旧加地邸」に於いて、竹を主な素材とする造形作家・松本秋則のサウンドオブジェのインスタレーション展が開催されます。

フランク・ロイド・ライトの設計思想「建築とは生命」を引き継ぐ建物の中で、松本がつくりだす作品は生き物のように動きます。竹同士がぶつかり、こすれ合うたびに生まれる音の連鎖は愉快な音楽を奏で、その空間をさらに異なるものに変えて行くでしょう。葉山に残る個人所有の別荘建築「加地邸」に入場できる貴重な機会でもあります。ぜひ、ご来場の上、非日常のひと時をお楽しみください。

開催概要

日程 ： 5/3（水・祝）～7（日）※全5日 / Open 10:00 ～ Close 17:00
入場料 ： 一般 1,000yen　学生 500yen（学生証提示必要・小学生以下は無料）
開催場所 ： 旧加地邸（神奈川県三浦郡葉山町一色1706）

松本秋則 Profile

主に竹と他の素材を使って「音具・サウンドオブジェ」を創作する造形作家。ギャラリー、美術館、野外等のさまざまな場所で、サウンド・インスタレーションを行なう。演奏の動力は室内なら人力や電力、屋外なら風や水や太陽などの自然エネルギーを利用。
サウンドオブジェを使ったライブ演奏なども行なう。

旧加地邸について

葉山町一色地区に建つ別荘建築。
三井物産の初代ロンドン支店長であった加地利夫氏が、建築家・遠藤新に設計を依頼して1928（昭和3）年に竣工した。遠藤は、近代建築の三大巨匠のひとり、フランク・ロイド・ライトが日本で手がけた帝国ホテルの実質的設計者で日本での一番弟子。大谷石が多用され、邸内の家具、照明器具も全て遠藤のオリジナルデザインによるもので、ライトの設計思想を色濃く残した建物。近年、加地氏ご遺族から建物を継承した現オーナーのご厚意により、葉山芸術祭や他のイベントで邸内に入れる機会が創出されている。

アクセス

公共交通機関で　JR逗子駅、京急線新逗子駅より逗2、逗4、逗5、逗6、逗7、逗8、逗71、逗72系統のバスに乗り、「旧役場前」下車、徒歩5分

お車で　横浜横須賀道路より逗葉新道出口へ。
長柄交差点から葉山御用邸方向へ約2.6km。

※加地邸には駐車場がありません。
近隣の有料駐車場をご利用の上、徒歩で会場までお越しください。

マップ

葉山芸術祭公式HP　http://www.hayama-artfes.org
問い合わせ：葉山芸術祭 電話046-877-1441

協力：大和ハウス工業株式会社（孟宗竹提供）　鈴木陽介氏（真竹提供）　二子山山系自然保護協議会有志（竹伐採）

葉山芸術祭